令和６年第１２回定例教育委員会会議録（要旨）

開会日　　令和６年１２月１９日
場　所　　市役所４０６会議室
時　間　　午後２時００分　開会

（出席委員）
　湯原教育長、渡邊委員、滝委員、鈴木委員、村田委員

（欠席委員）
　なし

（委員以外の出席者）
　滝教育部長、岩間学校教育課長、石井生涯学習課長、宇梶図書館長、
　小山教育総務課長、中野教育総務課長補佐、矢吹教育総務課主幹

（次　第）
　・議　事　　議案第２８号　学校給食費公会計化に伴う事務委任の協議について

　・報告事項　（１）１月の教育委員行事日程について

（開　会）
教育総務課長
　定刻となりましたので、湯原教育長よろしくお願いいたします。

湯原教育長
　ただいまから令和６年第１２回定例教育委員会を開会いたします。

教育総務課長
　初めに教育長より御挨拶と教育長報告をお願いいたします。

（教育長からの挨拶、教育長報告）

教育総務課長

ありがとうございました。ただいまの教育長からの御報告につきまして、御質問等ございますでしょうか。

（質問等無し）

それでは、ここからの議事進行については、教育長にお願いいたします。

（議案第２８号　学校給食費公会計化に伴う事務委任の協議について）

教育長

それでは議案第２８号について教育総務課から説明をお願いします。

教育総務課長

（議案第２８号　学校給食費公会計化に伴う事務委任の協議について、説明。）

教育長

担当課から説明が終わりましたが、御質問等ございますか。

（質問等無し）

無いようでしたら、賛成の方は挙手を願います。

（挙手全員）

挙手全員により、議案第２８号については可決といたします。

（報告事項（１）１月の教育委員行事日程について）

教育長

それでは、報告に入ります。１月の教育委員行事日程について、教育総務課から説明をお願いします。

教育総務課長

それでは、１２月及び令和７年１月の教育委員行事日程を報告いたします。本日配布いたしました資料の２ページ、資料№２をご覧ください。１２月ですが、（１）先月の定例教育委員会でも報告しましたが、第６９回北茨城市教育振興大会が１２月２６日、木曜日、午前９時３０分から北茨城市民ふれあいセンターで開催されます。どうぞよろしくお願いいたします。

続きまして、令和７年１月の予定です。（１）令和７年北茨城市はたちの集いが、１月１２日、日曜日、午前１１時からあゆみドームにて開催されます。（２）令和７年第１回の定例教育委員会ですが、１月１６日、木曜日の１５時から総合教育会議を予定しておりますので、定例教育委員会は１月１６日(木)午後１時１５分からでよろしいでしょうか。

（了承）

それでは、定例教育委員会は、１月１６日、木曜日、午後１時１５分から４０６会議室にて開催いたします。（３）令和６年度第１回総合教育会議ですが、同じく１月１６日木曜日、１５時から、市役所２階の庁議室において開催いたします。総合教育会議の目的は、市長と教育委員会が意思疎通を図り、連携して効率的な教育行政を推進するとされております。教育委員の皆様におかれましては、ご出席のほど、よろしくお願いいたします。次ページは、１月の教育委員会における、主な行事予定となっております。後ほど、ご覧になっていただきたいと思います。報告は以上となります。

教育長

担当課からの説明が終わりましたが何かご質問はございますか。

（質問等無し）

無いようですので、その他にいきます。報告で、滝部長お願いします。

教育部長

私からは、令和６年第４回市議会定例会について、説明報告をさせていただきます。本定例会は１２月２日から昨日までの１７日間の会期で行われまして、初日の２日の議員全員協議会におきまして、今議会に上程いたしました議案第６５号財産の取得の追認について、小学校教師用教科書および指導書一式の購入についての概略を説明した上で、

事務の執行に大きな誤りがあったことのお詫びを申し上げました。議員からは再発防止について質問がありまして、それに対しまして職員に対して法令遵守を徹底すること、チェック体制強化のために事務処理上の伝票の様式変更を施した旨、説明の方をいたしております。本定例会へ教育委員会所管で上程した議案につきましては、１１月の定例教育委員会で審議をいただきました、財産の取得の追認についてと、補正予算１件でございまして、こちらは１２月１１日に行われました文教厚生委員会におきまして、説明質疑応答を経まして最終日に、原案の通り可決されております。

続きまして、９日に行われました一般質問につきまして、その概要を報告いたします。今回５人の議員さんからの質問がございました。

まず蛭田千香子議員から、小中学生の発達障害についての質問がございまして、発達障害の把握の方法と現状について、その対応についての答弁をしたところでございます。また、小中学校体育館のエアコンの設置についての質問もございまして、事業費として概ね概算で１０億円を超える費用がかかるといった見込みの話をいたしまして、今後の展開といたしまして、市長からも答弁ありましたが、財政状況の方を勘案しながら検討していく旨答弁をしてございます。

次に、豊田弘俊議員からＧＩＧＡスクール端末の更新についての質問がございました。答弁内容としましては、現在、タブレット設置総数が３１４２台、次期更新時期は、令和８年３月１日となる旨の状況を答弁しております。また更新の際に個人情報が漏洩することが議員の心配している部分でございましたので、その対応策として当然のように、リース会社が完全にデータ消去するものでございますけれども、市としても確認手段といたしまして、完全消去を証する書類の提出の他、何かしらの確認ができるようリース会社に今後要求していく旨、答弁をしてございます。

続きまして、松本正春議員から広島で学ぶ平和への旅と富士登山の体験学習についてそれぞれ質問がございました。見学の内容や参加者の感想等について答弁をしております。また、学校の統廃合についてのご質問がありまして、児童生徒の成長や教育条件の改善を第一に考え、保護者学校及び地域の方々と様々な考えや意見を踏まえながら慎重に検討していく旨、答弁してございます。この内容につきましては、６月議会に柴田キクエ議員からの質問に対する答弁内容と同じ内容としてございます。

４人目、今井路江議員から、誰一人取り残さない学校教育について、不登校の子どもたちと保護者の生徒とのコミュニケーション、子どもと親の居場所作りについてのご質問がございました。不安や悩みに寄り添い、一緒に考えていく姿勢を大切に取り組んでいる旨答弁をいたしまして、また議員から以前から要望がございました、教育支援センターに通所している子どもたちの保護者を対象とした座談会の実施について、現在準備

を進めている旨、答弁をしてございます。

最後に鈴木康子議員から、学校給食の調達の現状についての質問がございました。主食の米につきましては、ＪＡ、また鈴木農園から納入先からの価格の提示を受けまして、またパンおよび麺につきましては、茨城県学校給食会等それぞれの組合との協議により価格を決定しているところでございまして、副食については月ごとの入札により業者と食材を決定している旨、答弁をしてございます。また、現在の社会福祉協議会があります地域福祉交流センターが移転・建て替えられるということから、現在そこに入っている教育支援センターは今後どうなるのかといった質問がございました。教育支援センターの役割を考慮しながら現在検討中である旨答弁をしてございます。以上が一般質問の概要となっております。私からの報告は以上でございます。よろしくお願いします。

教育長

ただいま部長から市議会の報告ありましたが、何かございますでしょうか。

村田委員

報告ありがとうございます。ＧＩＧＡスクールに関してですが、今市内に３１４２台のタブレットがあるということだったのですが、これを使用中に何か不具合やトラブルがあった場合に、それを回収するなり、修繕などのメンテナンスの迅速さというか、そういう手配などは、この年間を通してうまく子どもたちも何か学習に差し支えることなくできていたのでしょうか。そういうことがあった場合に関してです。

教育総務課長

現在児童生徒が使っているタブレットに関しまして、実際に児童生徒数プラス予備という形で、学校には生徒数以上のものを配布しております。故障等があった場合には、その予備の方を使っていただいて、その間に修理するという形で対応しております。その処理が滞ったとか使えなかったという報告は受けておりません。

村田委員

ありがとうございます。

教育長

その他ございますでしょうか。

渡邊委員

今回の市議会の一般質問の一覧表を見ると、教育関係、非常に、一番多いなという感じを受けたんですね。いろいろ教育の根本からいろいろな施策までの質問が出たのかな。議員さんも質問に立つ。一般市民の方も、私はどうなっているのかなという情報を得る一つの手段としては、前にも話したとおり、市のホームページだと思うんですね。確かに市のホームページの中で教育委員会のホームページは独立はしてないのですけれども、そこに行けば、カテゴリーは確かにたくさん増えました。増えたのですけども、例えば今年度の学校教育はこういうふうに、社会教育はこういうふうというのがホームページには載っていない。高萩市のホームページは、その学校教育についてとか、あるいは、年度初めに行われた全国学力学習状況調査もホーム画面からすぐにわかるようなふうになっていて、こういうのを見ると、やっぱり議員さんも一般の市民の方も、今年の方向性とか、今日の給食は何だとか、全て一目でわかるような形になっているので、前から言ってるようにホームページについては、一度考えた方がいいのかなというふうな思いがあります。はっきりと高萩市は、県の教育目標から市の教育目標まですぐにわかるようになっているので、そのときの新着の情報だけじゃなく、年間通してどうなっているかという、そういうのがわかるようになっているんではないかなと私は思っているのですけれども、今後考えてもらえればというふうに思います。今、部長のお話の中で、村田委員さんからも今、ＧＩＧＡスクールの話が出ましたけども、やっぱりこれも県北のある市では、タブレットの物損的な事象がたくさん起こってるのかなということで、各家庭に結局、タブレットの取り扱い、落とさないでとか、細かい注意書きが出てるんですよね。北茨城の場合、今、余分に配布してるから、特に支障ないということなんですけれども、そういう文章を出すほどまでは破損とかそういうのはあるのかないのか。そういう状況を聞きたいな。もう一つは、教育支援センターの話も出ましたけども、前にこれは総合教育会議に出てたのかちょっとどちらかわからないですけれども、場所を移転しなくちゃいけないよねというのが多分市長さんからも話が出ていたと思うのですけれども、今お考えがあるならば、お聞きしたいなと思って。このホームページの件はいいですけどもタブレットの件と、教育支援センターの件について何かお話があればお願いしたいと思います。以上です。

教育長

タブレットの件は、学校教育課長。

学校教育課長

タブレットの活用時のルールというものを作成しておりまして、持ち帰り等につきましても、年度当初に保護者の方にお知らせをしてございます。以上でございます。

渡邊委員

そうすると特に目立って、壊したとか何とかっていうのはないってことですね。

学校教育課長

修理件数としてはそういった報告は、各学校の方からは上がってきていないと捉えています。

教育長

教育支援センターについては教育部長、お願いします。

教育部長

教育支援センターにつきましては、現在の場所が古い建物の中に入っていましてですね、それは工夫していただいて、いろいろな活用をしていただいているのですけれども、どのぐらいのスペースが必要なのか、そういったことも勘案しながら、あそこがいいだろう、ここがいいだろうと今やっているところでございまして、具体的にここで検討しているといった場所があるわけではなくてですね、新しく建てる方法もあるだろうし、それについてどこの場所がいいんだとか、既存の何か建物を借りるのかという、いろいろな方法を探しているところです。

渡邊委員

ここ１年２年くらいにはどうにかなりそうなんですか。

教育部長

ならないと移転の方はどんどん進みますので、社会福祉協議会の。それに合わせてといいますか、間に合うようにやらないといけない。

渡邊委員

社会福祉協議会が移転するわけですか。

教育部長

はい、そうなんです。給食センターの西側に。

渡邊委員

するとあそこは支援センターのみ。

教育部長

そこは今のところ。

渡邊委員

いやいや、元の常陽のところは支援センターだけが残るわけ。

教育部長

そうですね。

渡邊委員

なんか置き去りになってしまっているような感じもします。

教育長

あそこに長く残ることはないです。

滝委員

今事務所的に使っているところは取り壊さないで後ろ２階分だけ使っていく。

教育部長

いいえ、その利活用やいつ壊すということは、まだ決まっていないので、いつ新しいとこに移転するってのもちょっとまだ決まっていない。今決まっていることは、こちらに社会福祉協議会とシルバー人材センターが動きますということだけです。

渡邊委員

教育支援センターの話も出て、もう２、３年たっているので、なかなか本腰を入れてやらないと前に進まないと思うんだよね。でも今、どんどんいろいろな懸念されることがあり、諸問題はあるので、ぜひ主要な部分で動いていただければよろしくお願いします。

教育長

ではその他ございますでしょうか。

村田委員

先ほど学校給食に関しての話がありましたけれど、前回試食をさせていただいて、栄養計算はもちろんのこと、未来のこれからゆくゆくの子どもたちの食の嗜好がいい状態に保てるような工夫が大変されていましたし、それから北茨城市民病院がずっと力を入れてきた予防医学の観点からも、小さいうちからこういう減塩とかそういうことに気を使って食生活を続けていくということが、今からそういう芽を育てていくのにはとても素晴らしい試みだと思っていました。それから、日本の歳時記とか行事を意識したような日本の食文化の献立のちょっとしたところに、このお節句とか行事のことも触れられていたりして、やはり私達が守っていかなければならない日本の食文化というものを上手に給食に取り入れられてるなというところが、食がこころを育てるというところで、日々素晴らしい努力をされていらっしゃると感じました。とても食に関して関心がある父兄からですね、以前できれば無農薬とか、減農薬の野菜ですとか、それからあの精製された白いお砂糖でなく、そういうものでない砂糖を本当は使ってもらえたらいいなというような、子どもが切れやすくなる食事から遠ざけるために、もし仕入れのコストが変わらないなら、そういうものを少し取り入れてもらえたらっていうような声もありますので、進めていただけたらと思っております。

教育総務課長

今お話があった地場産の無農薬野菜、無農薬の農産物に関しては、積極的に取り入れていきたいという方向で考えておりますが、有機野菜を北茨城市で給食センターに卸せる量を作ってらっしゃる方がいらっしゃらない状況がありまして、もちろん市外とかいうことで考えればいらっしゃるとは思いますが。ただ、やはり今おっしゃったようにコスト的には有機農産物は、ちょっと高いです。そういう状況ではありますが、有機野菜を積極的に取り入れていこうという、県の方でもそういう姿勢でおりますので、できれば取り入れていきたいという考えではあります。ただ、今話したように、市内の方で給食に提供する量を確保できない状況でもありますので、今後も引き続き検討していきたいと考えております。

村田委員

ありがとうございます。

教育長

その他ありますか。

渡邊委員

まとめて聞きますね。１点目は、磯原中の前の使用が始まった道路。今、日が落ちるのが早い状態で、夜通ればいいのでしょうけども、夜出歩かないのであの周りの街灯はどうなっているのか。今は下校が早いと思うのですけれども、４時半にはもう真っ暗になってしまうので、街灯はどうなのかなというのが一つ。

２点目は、１１月末で奨学金の再募集が終わっていますよね。その結果はどうなっているのかなと。前回の電子黒板もその後に変化があれば。私やはりこの時期になって一番予算のことが気になります。市議会があるから今回かなと思ったら今回なかったので。いろいろ働き方改革でやっているけれども、私が一番言いたいのはやはり人的支援だと思うんです。機械の導入もあるけれども、やはり先生方の給料を上げるとか、手当を増やすとか、そういうことがあるけれども、上げるから仕事はそのままやれというふうになってしまうので、やはり業務を減らしてあげるのは人的支援で、その辺の予算を今では取れないと思うのですけれども、一番のお願いは教育予算を獲得して、人的支援を入れるということだと思うんですね。ちょっとね、ずっと黙っていたんですけれども、会議録が今年の２月から更新されてないですよね。去年、この機会でこういうものがありますよと言ったときに、別なものを借りてるからどうのこうのという話になったと思うのですけれども、その辺がどうなっているのか。ちょっと聞きたいなと思いまして、以上です。

教育長

一つ目、磯中周辺街灯についてお願いします。

教育総務課長

まず一つ目は、磯原中周辺の街灯についてですが、私も確認していないので、後で確認させていただきたいと思います。ただ、街灯担当の部署がまちづくり協働課なのですが、そちらから要望が上がってきたとか、学校からといった話がありませんので、設置されているのかどうかについても、確認させていただきたいと思います。

渡邊委員

実はローソンからミニストップに下りる坂、そこが開通したときにやはり真っ暗で、多分子ども議会で質問が出て、あそこに今何機か、防犯灯がついている。磯原中から話がないということは大丈夫だということですね。

鈴木委員

磯原中央公園から新しい道を磯中側に行くと、右手側にはいっぱいありますけれど、田んぼ側は真っ暗です。なので田んぼ側に帰る子というか、旧磯中側に帰る子は田んぼの間を通って帰ってる子たちが一定数いると思うので。きっと暗いところを通っています。ただ、その家側というんですかね。今はもう向こうの道路信号まで、街灯はついている。一歩入るともうどうしても無いですけれど。

渡邊委員

どうなっているのかなとちょっと気になった。もし、校長会あたりで、暗いとかだったら、すぐは無理かもしれないけれども、申請に手をあげてくださいとかね。どうなのかなと思って。

教育長

ありがとうございます。奨学金関係で、教育総務課長お願いします。

教育総務課長

奨学資金ですが、最初の募集で応募がなかったということで、１１月末までの再募集をもう一度させていただいたのですが、応募がありませんでした。去年が申請１人、今年ゼロということなので、その制度自体、やはり見直さないといけないのかなと考えております。ただ、金額的なものなのか、もしくは支給要件なのかということを再度検討し直さないといけないと考えております。

渡邊委員

瓦葺さん自体も考えを持っているみたいなのでね、その辺も聞きながらやはり制度を変えていく方がいいのかな。

教育長

人的予算ということについては、学校教育課長お願いします。

学校教育課長

働き方改革という視点の人的支援、やはり国とかですね、県が管理関連しているところがありますので、なかなか人的支援は非常に難しいというところがございます。ただ、北茨城市の場合には、各学校から上がってきた要望をしっかりと調整していただいて、例えば特別教育支援員は、昔から比べますとかなりつけていただいてるのかなという感

じでは捉えているところでございます。あと非常勤講師の配置とか、そういったところでできる限りで人的支援ができるようにと考えていきたいと思っているところです。

渡邊委員

教育現場で何が一番時間を要してるのか。事務処理ももちろんあると思います。あの指導はやはり今まで通り原則行いたいですよね。そのためにやはり先生方の事務的な部分のバックアップなり、あるいは授業でのサポートできる人材を補充するか、そういう形を考えていかないといけないのかなと。以上です。

教育長

では、会議録ということで、教育総務課長お願いします。

教育総務課長

電子黒板の方をまず先にご報告させていただきます。先月の１１月の定例教育委員会において、協議いただきました電子黒板整備の進捗状況ですが、先月の協議内容、小学５、６年生で２８台、中学校全学年全クラスで３０台の計５８台、購入予定額は３７００万円程度ということで、副市長と協議させていただきました。結論から申しますと、財政的な理由もあり、その台数の設置は困難だという回答がありました。事務局といたしましても、その設置の導入の方法、購入なのか、リースなのか、あとは、別の何か方策がないのかということで、今現在調査している段階でございますので、調査した結果をもって、再び協議の場を設けていただこうと検討している状況です。いずれにしましても、電子黒板設置に係るその補助金の申請期限が２月ということになっておりますので、来年１月の早い段階では決定していないと補助金の申請に間に合わなくなってしまいますので、次回の定例教育委員会の場では、ご報告させていただきたいと思います。

会議録の方ですが、渡邊委員のおっしゃる通り、２月からホームページの方には公開されておりません。大変申し訳ありません。今日、臨時の３月分と定例の３月分をアップいたしました。今現在、課を上げて議事録を作成している状況で、近いうちに４、５、６月までは、公開できるかなと。その他、７月分から１１月分に関しても、早急に作成して公開できるようにと考えております。申し訳ありません。

教育長

その他、何かありますか。

滝委員

学校規模の適正化ということで、去年の教育総合会議で話題になったということをこの前確認したかと思います。前教育長も今後、検討委員会のようなものを設置して考えていく必要がある。それから市長もその方向で頼むということで終わったかと思います。今後どういうふうに持ってくのか。この前、華川小学校に訪問させていただいて、現状を聞くと非常に大変そうだなと。確かに学力状況調査の数値は高い、上がっているという報告があった。しかし、その他の状況を聞くと、やはり複式ですから、例えば、理科、社会は、学年が逆転して取り組まなくてはいけない。英語も同じ。それから実際に授業の様子を見ると、先生１人に子供が２人、場合によっては１対１という状況がある。確かに学力はきめ細かく指導できるだろう、だから上がるんだなという理解もできましたが、果たして学校というのはと考えたときに、その知識量とかそういうものだけではなく、人間力というか、そういったものを、仲間と切磋琢磨して、協力して、場合によっては喧嘩をして、その喧嘩の修復するすべもその中から得ていく。これは本当は小学校の低学年でそういうことを経験して、その修復力を自分で身につけていく。こういうふうなものが大事なんだろうなと思って見てきたのですけれど。１１校あるうちの９校は単学級で、複式学級がどんどん増えている。こういう現状を見たときに、このままでいいのだろうかというのがどうしても出てきてしまうんですよね。この前の去年の会議、また今回のお話を聞くと、検討委員会を立ち上げるのか、どうなのかということだけでも方向性を出さないと。今回の総合教育会議にはどうするのか。去年は事務局から議案というか話題として出された。今年はどうするのかということを確認して、そしてある程度準備しておかないと、我々もただ聞いている一方になってしまう。総合会議でこのテーマについては触れないのか触れるのかという部分を確認させてください。

教育総務課長

総合教育会議の議題ですが、国及び県からこういう議題を取り上げてください、というようなことが２点ございまして、それは学校のあり方の関連ではなくてですね、問題行動や不安、不登校と生徒指導上の諸問題が１点と、もう１点は学校における働き方改革で、こちらは今回の議題として、国の方から積極的に取り上げるように、県からも取り上げることということで通知が来ておりますので、議案の方はそちらを考えております。

教育長

よろしいですか。

渡邊委員

一ついいですか、そういった通知はいつ頃来るんですか。私の個人的な意見としては、要覧ができた６月頃にみんなで話し合えると、今年度の学校教育、社会教育総合会議に行けるのかなというふうな考えを持っているので。年度終わり頃では翌年度の話になるなと。ただ、何か大きなことが起こってて、それについてどうしても協議しなくちゃいけないというときにはそれは別でしょうけれども、大体は６月あたりが一番望ましいのかな、なんて個人的には思っています。その方が今年度の施策に活かせるのかなというふうな部分もね。

滝委員

これは教育総合会議の話題、議題としてということもあるけれども、やはり近い将来、このままでいいのかというのをみんな持たないといけないかなと。地域の方などに石岡小はいつ中一小に統合するのかということを聞かれたりするんですよ。実際、石岡小学区で４０人超の人が中一小に来ているとかいう話も聞く。また、華川小は今度入学児童がゼロになる。関連で一つの学校を維持管理するというその管理費、これは我々素人でわからないですけれども、どのくらいかかるんでしょうね。県費職員だから人件費は別として。

村田委員

私もそこが気になっていました。あれだけ建物が大きなものを維持管理する年間のコスト。やはり費用対効果というのをどうしても考えてしまうんですけれど、どのぐらいかかっているのかなというのは私も気になっているところです。

滝委員

非常に北茨城市の財政が厳しいということを聞きますので、なるべく早い時期に考えていく必要があるのかな。行政的にもそうだし、市民、何より子ども。華川小の状況を見ていると、家庭教師が子どもを教えているようで。

村田委員

個別指導みたいですよね。休み時間が来るというわくわく感、お友達と触れ合うわくわく感がなかったり、滝委員からもお話あったように喧嘩をしたときの仲直りの仕方とか、触れ合ってこそ学べるものが全く得られないのは可哀想だなというふうに。きっと

ずっといい子でいるから、先生から注意されるということもないのかもしれませんし。

滝委員

喧嘩が起こる前に先生が押さえてしまう。いじめもありえない。そういう点からすると利点といえば利点なんだろうけども、そこで喧嘩をすること自体もこれ勉強なんだよね。嫌な思いを経験したりそれを何とかして、挽回して、仲直りする。そうすると、教育総合会議では話題にはしないのかな。

教育長

話題にいたします。

教育総務課長

今のところ議題としての予定にはなかったのですが。

教育長

する方向で考えています。

教育総務課長

議題という形ではなく、提案するような形の話しにしますか。

教育長

必ず入ると私は思う。

教育総務課長

事務局から提案する形ですか。

鈴木委員

総合会議に出席する保護者としては、そちらを市長さんと話してるということの方が、表に出てきた方がすごくわかりやすいと思うので、やはり大事なことなので、せっかくの機会にお話をしないとなというふうに思います。やはり保護者が選択して越境している状況になっているので、ちょっと遅れているのかな、統合するのがという印象があります。どちらにしろ磯原中に行くからもう華川小から精華小に通学するという声がたくさん聞こえてくるので。

村田委員

予算というのが、どれだけ管理費用がかかってるか。その部分を今度は新しい教育の充実に振り分けられると思ったら、もっと前に進めるのかなと思うのですけれどね。

滝委員

最も大事なことであって、そういうことで財政を相当苦しめているという部分もあるようだし、人によって一丁目一番地なんていう人もいるし。

教育長

いい機会だと思いますので、触れて行くべきだと私は思っています。

渡邊委員

ここ１年２年、気になっているんですが、下桜井あたりを国道で通ると、ブロック塀のところにカラーコーンがあるんですよね。通学路にはなっていないかもしれないですけれど、国道にずっとカラーコーンがたくさん置いてあるんですよ。だから通学路でこれだけカラーコーンがあるということは、通学路を変更しているのか、何も問題ないのか。ブロック塀が倒れたときの通学路の点検という話も時々出たけど。

滝委員

国道沿いを歩かせないのが基本になっている。そこからすぐ西側に小枝のように入っていった道と北側の道の歩道を小学生が登下校しているよね、中学生はわからないけれど。小学生は、そこからもっと北側の元消防署の方に入ってきて、なるべく国道は歩かせないというのが小学校で中学校はわからない。

渡邊委員

でも小中学生が歩いているのは見ているから。ここは通学路でも問題にはなってないんだな。日立方面に行くときちょっと見てください。

教育長

何か危ないということですかね。

渡邊委員

塀が確かに風化してるような状態なんです。何かの危険防止のために置いたのでしょ

うけれども、あそこには近寄らないような形でなんですかね。

教育長

その他、何かございますでしょうか。

（質問等無し）

（閉　会）

教育長

以上をもちまして、令和６年第１２回定例教育委員会を閉会いたします。ありがとうございました。

閉会　午後３時２６分